

# 家庭学習とデジタル ドリル運用に関する アンケート

実施期間：令和7年2月3日（月）～10日（月）

実施対象：保護者、生徒、教職員

# 保護者アンケートの 結果

---

N = 33

# 主なご意見 ～デジタルドリル賛成派～

・デジタルドリルの取り組みには賛成です。例えば、進捗確認や回答状況について紙では手に取って見る事が必要でしたが、通知やログ等で保護者も独自にアクセスできるような仕組みを設ける等までデジタル媒体の特性をもっと踏み込んで取り入れる方が良いと思います。デジタルばかりですとコミュニケーションの欠如になるといった意見もあろうかと思いますが、コミュニケーションをとらない環境の家庭であれば紙媒体だからと言って改善はされないでしょうし、時間的なゆとりがない事がコミュニケーションが薄い要因であれば回答手間が楽になったり、いつでも閲覧ができるようになる事で時間のやりくりも楽になりコミュニケーションに回せるなどデジタルの方が良い面もあろうかかと思えます。原因は媒体種別では無いのではと思っています。

・わからない問題を前の学年のところに戻って出来るのがとても良かったと言っていました。

・紙ドリルの方が覚えると思います。が、ドリルが真ん中くらいになると書きにくいようです。勉強が嫌いな子ですがキュビナは1回の回答が沢山あるため、仕方なくでも一度やると長い回答を終わるまでやります。キュビナのおかげでテストの点は良かった科目もあります。

# 主なご意見 ～デジタルと紙の併用派～

- ・ キュビナは今の子には適しているように感じました！紙と両方あるといいと思います。
- ・ デジタルだと何度も類似問題が出てくるので反復練習になっていいのですが、紙に書くことがないので記憶に残りにくく、デジタルを長時間やる事で頭痛、視力低下があるので併用がいいです。
- ・ 形跡が親からわからない。簡単に取り組めるのは良い。

# 主なご意見 ～紙のドリル賛成派～

- ・紙の方が断然使いやすいと子供は言っています。数学の図形でコンパスを使った製図問題はやり方もよくわからず、書きにくい。紙に書けば一発で終わる。タッチペンの反応速度が鈍く時間の無駄。社会の穴埋め問題ならまだ使えるがそれも選択するだけなら果たして本当の意味での勉強になっているのか疑問。
- ・記憶の定着という観点からデジタルより紙ドリルの方が良いと感じています。間違えると消しゴムを使うというリスクを減らすために、紙の方が真剣度があると思います。
- ・デジタルだとやってるのか確認しにくい。
- ・金額が高い。

# 生徒アンケートの 結果

---

N = 116

# 主な意見 ～デジタルドリル賛成派～

- ・紙のワークだと教科ごとにあるから量も多くてカバンに入れると重いし、丸付けをしないといけないけど、キュビナだとクローム一つで済んであまり重くないし、カバンに入れてもじゃまにならないし、丸付けをしてくれて使いやすかった。
- ・自分がどのくらいできているかが目に見えるので使いやすいです。
- ・今までの中で一番キュビナが良かったと思う。取り組んだ時間や教科が見やすいグラフになっていたし、基本的なものからできたので取り組みやすかった。
- ・きゅびなは合っても間違っても解説が出るのでよくわかりやすい。
- ・解けなかった問題の解説を見ると分かり易くなりました。
- ・スマイルネクストのほうがやりやすい。
- ・いろんな問題の範囲が豊富で使いやすい。

# 主な意見 ～デジタルと紙の併用派～

- ・自分の苦手な分野に限って勉強することができるので、使いやすいです。また、ちょっとしたすきま時間にも勉強ができるので、いいと思います。
- ・打ち込む形式ではなく、書いて答えを出すので漢字が覚えやすい反面、上手く読み込んでくれなくて書いた字通にならないことがある点は使いづらい。また一度間違えると、最後まで問題をやらないと100%を目指せないのが使いづらいと思いました。でも、解説がわかりやすいし、ワンタッチで操作できるからすごく使いやすいと思っています。
- ・わざわざ打ち込まないといけないというのが少し面倒臭い。紙に書くほうがすくにかけるから時間が紙のほうがかからない。だけど、自分の苦手な漢字がきれいな字で出るからそこはいい。あと字の汚い人にもパソコンだと自分を字じゃないから誰でもきれいな字で打ち込むことができる。
- ・さらっと簡単に問題が溶けて便利だけど、目が疲れたりします。
- ・持ち帰って宿題をしたりなどの手間がなくなるのはいいと思うが、たまに判定がよくわからない時があったり、読み込みに時間がかかるときがあったりするのでそこが改善されればずっと使いたいなと思った
- ・ものにもよるけれど、数学は紙でやったほうがやりやすいけれども、理科や社会はデジタルワークのほうが良いです。英語も自分の意志でリスニングがデキ良いです。国語はどちらでも良いです。

# 主な意見 ～紙のドリル賛成派～

- ・テスト勉強には重宝しましたが、正確に字を読み取ってくれなかったり、計算問題のスペースが足りなかったり、キーボード打ちができないなどとあまり長期的に使うことはできなかったなと感じました。5分間復習も使いにくいと感じました。
- ・書く問題いが読み取ってもらえないことが少し困る。
- ・選択問題などはとても使いやすく、少し復習したり勉強したことを確認したりするだけならとても便利だと思いました。しかし、数学の図形問題はコンパスなどの使い方が書かれているわけではなく、とても使いづらかったです。
- ・文字が違う文字で認識された事があった。紙のほうが良かった。
- ・すぐ使いたいときに起動する時間がかかるし、問題数が多いやつだとはじめから戻るのに時間がかかるから暗記がしにくい。
- ・目が疲れる。

# 主な意見 ～生成AI Gemini総括～

#分類にあたって、以下のような基準を設けます。

- 肯定的意見:** デジタルドリルについて、良い面を評価する意見
- 否定的意見:** デジタルドリルについて、悪い面を指摘する意見
- どちらでもない意見:** デジタルドリルについて、良いとも悪いとも評価していない意見、または肯定的意見と否定的意見の両方が含まれている意見

この基準に基づき、各コメントを分類し、それぞれの割合を計算します。  
肯定的意見、否定的意見、どちらでもない意見の割合は以下の通りです。

肯定的意見: **41.6%**    /    どちらでもない意見: **50.5%**    /    否定的意見: **7.9%**

ご覧のとおり、肯定的な意見が最も多く、全体の約**4割**を占めています。一方で、否定的な意見は約**8%**と少数派です。残りの約**5割**は、どちらでもない意見に分類されました。

これらの結果から、デジタルドリルに対しては、肯定的な意見をもつ生徒が多い一方で、改善点も指摘されていることがわかります。今後の活用方法を検討する際には、これらの意見を参考に、生徒にとってより良い学習環境を提供できるよう努める必要があります。

# 教職員アンケートの 結果

---

N = 10

# 主な意見

- ・課題の未提出が把握しやすい利点を感じました。内容としても基礎的なものから発展や確かめになっていた  
ので、その点も良かったと感じています。反面、「書く」ことが減ったため、実際に「正しく」身につ  
ているかの把握は難しいと感じました。また、記述問題の正否もシビアで、助詞が一つ違う、抜けて  
いるだけで不正解となってしまうところが難点に感じました。（「●●へ行く」「●●に行く」など）
- ・デジタルドリルは、取り組みやすいと思う。反面、書くことが少なくなってしまうのが、心配です。高  
校入試が、まだ書く方式なので、紙のドリルとの併用が良いと思いました。
- ・国語で言うと、文法や語句の知識等についてはデジタルで取り組みやすい部分もある。が、長文問  
題や字数の多い問題、正確な漢字を書く問題についてはやはり自分で書くべきだと考える。
- ・教科の特性によって、デジタルドリルに適した問題とそうでないものがあると考えます。英語だと、  
単語や熟語のような一問一答式でも良いものや、リスニング問題では一定程度の効果があると思  
います。ただ、生徒の回答の様子を見ると、ただただボタンを押して問題を進めていたり、せ  
っかくの解説を読んでいないことが感じられました。紙のドリルでもただ回答を書き写すだけ  
の生徒もいましたが。場面に合わせて紙とデジタルをうまく使い分けられると良いと思  
います。

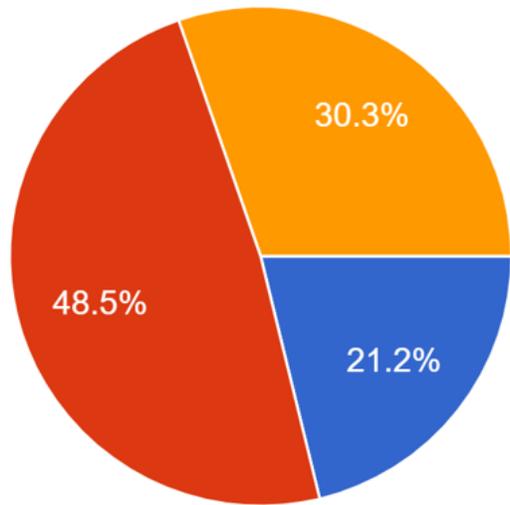
# 主な意見

- ・必要だとは思いますが、きちんと字が書けない生徒も多くなってきているので偏るのはいかがでしょうかと思います。
- ・楽しみながらキュビナに取り組む生徒が多かったように感じました。
- ・家庭学習の習慣がない子にとっては、取り組みやすいのだと思います。
- ・一長一短です。いずれかの法が良いという生徒の反応ですが、取組の選択肢があることが良いと思う。
- ・授業の補助（早く用意した問題を解き終えた生徒が使用するなど）によい。ただし、手で答えを記入したとき、生徒によっては意図しない答えが何度も表示され困惑する場面があった。AI型ドリルのみだと不安（テスト対策にはあまり向いていないと考える）。紙のドリルが良い生徒とAI型ドリルが良いと考える生徒が分かれる。

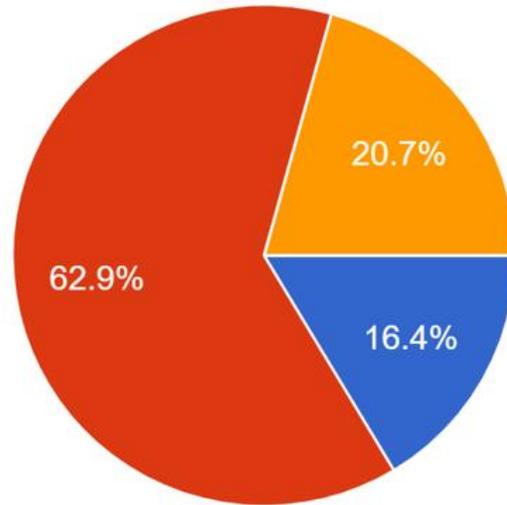
# アンケートのまとめ

**保護者、生徒、教職員のいずれも、デジタルドリルと紙のドリルの併用を望む割合が最も多かった。**

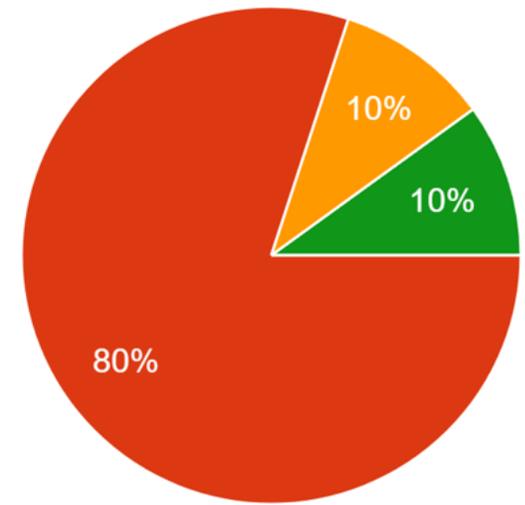
**(保護者：48.5%、生徒：62.9%、教職員：80.0%)**



保護者



生徒



教職員

# 令和7年度の副教材について

- ① 次年度は、学習習慣の定着と学力向上のため、副教材として、デジタルドリルと紙のドリルの両方を保護者に購入していただく。
- ② 「キュビナは高価である」との意見を考慮し、デジタルドリルは9教科1セットのスマイルネクスト（年間1,500円）を利用する。
- ③ 保護者負担が増えること、また、デジタルドリルの特性（1問1答には適している等）を踏まえ、各教科で例年以上に紙のドリルの精選を図った上で、使用する副教材を選定する。